

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		中央卸売市場
	01	04	01	05	01	

政策
安全・安心な農水産物の安定供給

政策の内容

市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、社会環境の変化への対応に努めるとともに、市民の食のニーズに応えるため、市場機能の充実等を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・浜松市中央卸売市場は、開設から46年が経過し、施設設備の老朽化が著しい。
 ・食品流通を取り巻く状況変化や卸売市場法の改正を踏まえ、2022年度に将来ビジョンや再整備方針を含めた「再整備基本構想」を策定した。
 ・基本構想で示された将来ビジョンの実現に向けて、2023年度に再整備の具体的な全体像を取りまとめた「再整備基本計画」を策定した。
 ・現在、2026年度中の再整備実施事業者の選定、契約を目指し、実施方針等の策定に向けた準備作業を進めている。
 ・市場施設の再整備に伴い、施設の適切な規模や配置、業務を継続しながらの工事計画、市場使用料の上昇が見込まれるため、市場内事業者との合意形成が不可欠となる。
 ・近年の物価高による建設費高騰の影響を受け、事業費の上振れや入札不調、資金調達方法などが課題となっている。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	463,919				
決算	431,091				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	9.0				
会計年度任用職員	4.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	3.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
中央卸売市場施設管理事業	1 施設管理事業(※アドバイザー業務委託除く) 市場業務を安定かつ円滑に実施するため、施設設備の維持管理を適切に実施する。 2 整備工事業 市場業務を安定かつ円滑に実施するため、施設整備計画に基づき整備工事を実施する。	420,978
		391,782
中央卸売市場再整備事業	1 再整備事業(※アドバイザー業務委託) 施設・整備の老朽化が著しいことや卸売市場法の改正等を踏まえ、安全・安心な生鮮食料品等を安定供給するため、再整備を実施する。	34,672
		34,672
中央卸売市場業務運営事業	1 業務運営事業 浜松市中央卸売市場の適正かつ健全な業務運営及び生鮮食料品等の適正取引の指導監督業務を実施する。	8,269
		4,637

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
中央卸売市場再整備事業の進捗状況	整備事業の進捗過程を指標とする。	再整備事業は早くとも2026年度に事業者を決定し、2033年度に施工完了を予定しており、現時点での年度ごとの進捗目標を目標値とした。	目標値	-	実施方針等作成	事業者決定	調査・設計着手	調査・設計完了	施工着手
			実績値	-	実施方針等作成				
			達成率	-	100%				
取扱高(億円)	卸売業者の合計取扱金額を指標とする。	市場取引における農水産物物流通の指標となるため。	目標値	-	404	404	404	404	404
			実績値	416	409				
			達成率	-	101%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
中央卸売市場再整備事業の進捗状況	整備事業の進捗過程を指標とする。	再整備事業は早くとも2026年度に事業者を決定し、2033年度に施工完了を予定しており、現時点での年度ごとの進捗目標を目標値とした。	目標値	-	実施方針等作成	事業者決定	調査・設計着手	調査・設計完了	施工着手
			実績値	-	実施方針等作成				
			達成率	-	100%				
取扱高の維持(%)	卸売業者の合計取扱金額における前3ヶ年平均に対する変動率とする。	市場取引における安定性の指標となるため。	目標値	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			実績値	1.1	△1.4				
			達成率	-	99%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
市内の1農家当たり農業産 出額 (千円)	○	浜松市農業産出額／浜松 市農家数	実績値	3,091 (2022 年度)	2026年 8月確 定					4,300
			達成率	72%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山村漁村振興が図られている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
中央卸売市場施設管理事業	・市場業務を安定かつ円滑に実施するため、施設設備の維持管理を適切に実施し、施設整備計画に基づき整備工事を実施した。	・引き続き適切な施設維持管理と計画的な整備工事実施に努める。
中央卸売市場再整備事業	・中央卸売市場再整備事業の実施方針の策定を進め、2025年12月に公表に至ったが、事業手法の変更や国交付金要綱の改正による市場関係者との合意形成についての要件追加に伴い、2026年3月に実施方針を取り下げ、2026年秋頃を目途に改めて整備手法等の見直しを検討することとなった。近年の物価高による建設費高騰の影響を受け、事業費の上振れや入札不調、資金調達方法などが課題となっている。	・事業者ヒアリングや庁内関係部局との調整を踏まえ、すみやかに方向性を決定する。
中央卸売市場業務運営事業	・市場の適正かつ健全な業務運営及び生鮮食料品等の適正取引の指導監督業務を実施した。	・引き続き適正かつ健全な業務運営と適正取引の指導監督に努める。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
(取扱高(億円)) 当該指標については、2024年度の実績値を2025年度～2029年度の目標値としている。 2024年度実績数値について、卸売業者から修正報告があったことから、正しい数値での算定に基づき、目標値を設定する。	

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
(取扱高の維持(%)) 取扱高の2024年度実績数値について、卸売業者から修正報告があったことから、2024年度実績値につき、正しい数値に修正する。これにより、実績値の正確な経年比較ができる。	

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

事業活動として、2025年度は適切な施設維持管理を実施し、市場業務を安定かつ円滑に運営するとともに、再整備事業の実施に向けた準備作業を進めることができた。 活動指標として、取扱高については異常気象の影響や物流コストの増加が懸念される中で、目標水準を達成し、再整備事業についても計画通り庁内協議や場内事業者との調整を進めることができた。 短期成果としては、取扱高の対前3ヶ年比においてもおおむね目標水準を維持することができたが、再整備事業においては国交付金要綱の要件追加や社会情勢の大幅な変化に伴い、事業手法の見直しを検討することとなった。長期の見通しが立てづらい状況ではあるが、すみやかに方向性を決定していきたい。 引き続き市場機能を維持し、生鮮食料品の安定供給を図るため、適切な維持管理と着実な再整備の実現に向け、場内事業者と連携を図り取り組んでいく。

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		食肉地方卸売市場
	01	04	01	05	02	

政策
安全・安心な農水産物の安定供給

政策の内容

市民が安全な食品を安心して手に入れることができるよう、社会環境の変化への対応に努めるとともに、市民の食のニーズに応えるため、市場機能の充実等を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

浜松市食肉地方卸売市場(以下「当市場」という。)は、1983(昭和58)年の全面改修から40年を経過し、施設老朽化が著しい状態となっている。
静岡県食肉センター再編推進協議会(事務局:県畜産振興課)で当市場と小笠食肉センターの再編、新食肉センターの設置が協議され、浜松市として、当市場をとりまく状況を勘案し、新食肉センターの稼働時期と合わせ当市場を廃止することで、再編協議を支援する方針をとることとした。
現在、静岡県を新食肉センターの施設整備主体とし、2026(令和8)年度末の全面稼働を目指し再編整備が進められており、新食肉センターの稼働後は当市場の役割は同センターへ引き継がれる。
施設老朽化により生じる設備機器の故障へ迅速に対応し、機能を維持することや小笠食肉センターの牛処理休止期間の牛増加対策が課題である。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	319,075				
決算	306,900				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	4.0				
会計年度任用職員	3.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
と畜場維持管理 事業	1 畜産振興を図る拠点として、安全・安心で新鮮な食肉を供給 生産者から出荷された家畜を衛生的にと殺解体し、安全で新鮮な食肉を供給すると畜場施設の維持管理を行う。 2 施設・設備の更新及び補修 衛生的な食肉を安心・安全に供給するため、老朽化した施設・設備の更新及び補修を計画的に行う。	221,084
		213,624
市場維持管理事 業	1 畜産振興を図る拠点として、安全・安心で新鮮な食肉を供給 公正な食肉取引機能を果たす市場施設の維持管理及び運営指導を行う。 2 施設・設備の更新及び補修 衛生的な食肉を安定的に流通するため、老朽化した施設・設備の更新及び補修を計画的に行う。	63,561
		61,341
新食肉センター 再編整備事業負 担金	1 食肉センター再編整備事業負担金 畜産振興と食肉の安定供給を担う新食肉センターの再編整備事業に対して支援する。	27,557
		27,557
食肉地方卸売市 場廃止事業	1 当市場の廃止に向けた作業 当市場の廃止、施設の解体等に関する業務を実施する。	6,873
		4,378

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
食肉地方卸売市場廃止事業の進捗状況	廃止事業の進捗過程を指標とする。	2027年1月に廃止し、2028年度末に解体工事完了、2029年度に跡地活用・処分方法決定を予定しており、現時点での年度ごとの進捗目標を目標値とした。	目標値	-	設計着手	解体工事着手		解体工事完了	跡地活用・処分方法決定
			実績値	-	設計着手				
			達成率	-	100%				
市場上場率(%)	当市場でと畜した牛・豚のうち、上場したものの割合	食肉の健全な価格形成と安全な食肉の供給を担う市場の利用率が分かる指標であり、「市場取扱高」向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	60.0	60.0			
			実績値	69.4	70.8				
			達成率	-	118%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
食肉地方卸売市場廃止事業の進捗状況	廃止事業の進捗過程を指標とする。	2027年1月に廃止し、2028年度末に解体工事完了、2029年度に跡地活用・処分方法決定を予定しており、現時点での年度ごとの進捗目標を目標値とした。	目標値	-	設計着手	解体工事着手		解体工事完了	跡地活用・処分方法決定
			実績値	-	設計着手				
			達成率	-	100%				
市場取扱高(百万円)	市場で取扱う枝肉、副生物及び部分肉の卸売額の合計額	食肉流通の実績を測る指標であり、実績値の増加により「市内の1農家当たり農業産出額」の指標の向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	5,000	3,750	-	-	-
			実績値	5,371	5,078				
			達成率	-	102%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
市内の1農家当たり農業産 出額 (千円)	○	浜松市農業産出額／浜松 市農家数	実績値	3,091 (2022 年度)	2026年 8月確 定					4,300
			達成率	72%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山漁村振興が図られている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
と畜場維持管理事業	1 畜産振興を図る拠点として、安全・安心で新鮮な食肉を供給 生産者から出荷された家畜を衛生的にと殺解体し、安全で新鮮な食肉を供給するとと畜場施設の維持管理を行った。 2 施設・設備の更新及び補修 衛生的な食肉を安心・安全に供給するため、老朽化した施設・設備の更新及び補修を計画的に行った。施設老朽化による設備機器の故障に対し、迅速な対応体制を整えることで市場機能の維持に努めるとともに、小笠食肉センターの牛処理休止期間に予想される牛の増加に対応するため、予備機を整備し、不測の事態に備えた。 (整備工事:17件・27,562千円、修繕工事:13件・2,382千円)	引き続き、同事業を確実に実施し、食肉の安定した供給に寄与する。
市場維持管理事業	1 畜産振興を図る拠点として、安全・安心で新鮮な食肉を供給 公正な食肉取引機能を果たす市場施設の維持管理及び運営指導を行った。 2 施設・設備の更新及び補修 衛生的な食肉を安定的に流通するため、老朽化した施設・設備の更新及び補修を計画的に行うとともに、突然の故障の発生にも業務を滞らせることなく迅速に対応、復旧した。 (整備工事:4件・6,421千円、修繕工事:5件・729千円)	引き続き、同事業を確実に実施し、食肉の安定した供給に寄与する。
新食肉センター再編整備事業負担金	1 食肉センター再編整備事業負担金 畜産振興と食肉の安定供給を担う新食肉センターの再編整備事業に対して支援するため負担金を拠出した。	2025年度で同負担金の拠出は終了。
食肉地方卸売市場廃止事業	1 当市場の廃止に向けた作業 当市場の廃止、施設の解体等に関する業務を実施した。 (設計・調査業務委託:2件・4,378千円)	当市場の廃止及び解体に関する事業を計画的に実施し、予定されたスケジュールに従い市場廃止を進める。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否
----------	---

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

と畜場維持管理事業及び市場維持管理事業について、事業及び指標の進捗はおおむね順調であった。当市場は2027年1月をもって廃止となるが、それまでの間、と畜場維持管理事業、市場維持管理事業を着実にを行い、引き続き安全・安心な食肉を供給する。